



2学期が始まりました

「四気」を持って頑張りましょう



2学期が始まりました。1学期の終業式で子どもたちに、「2学期始業式には、全員元気でそして笑顔で登校してください」とお話ししました。夏休みの間、子どもたちは普段経験できないようなことや、夏にしかできない暮らし方を体験したり、いろんなことにチャレンジしたりしながら、充実した期間を過ごしてきたことと思います。心も体もたくましくなった子どもたちの元気な姿に会うことができるのが、私たち教職員の、何よりの喜びです。学校に子どもたちが帰ってきて、さあ始まるぞという気持ちにさせてくれるのが、始業式の出会いです。

1年のうち最も長い2学期を充実した期間とするため、まず、始業式からの数日間、これまでの夏休みモードから学校の生活モードに切り替えることが大切となります。暑さに対する方策もとりながら体を慣らしていくことも必要ですが、この度岸和田市が空調工事を実施し、2学期からエアコンを使用できるようになり、学びやすい学習環境づくりができます。子どもにとってもこれまでとはちがい、ずい分学習や活動に集中しやすくなることと思います。集中して努力を続けていくことで必ず力が伸びます。今日から始まる2学期、子どもたちには、心も体も大きく成長し、飛躍をしてもらいたいと願っております。

そこで、私自身もそうですが、子どもたちにもぜひ四つの気「四気」を持って頑張ってもらいたいと思います。一つ目は「やる気」です。やる気のある人はきっと伸びます。二つ目は「根気」です。根気のある人は、これといったことをやり遂げることができます。小さなこともこつこつと積み重ね、やがて大きなことにつなげることができます。ですから、生活に充実感があります。三つめは「元気」です。すべての根本です。これがないと何もできません。最後に「本気」です。誰しも本気で集中して取り組めば相当なことができます。自分自身でもびっくりするほどの力が出ることもあります。偉そうなことを申し上げるようですが、長い夏休み明けだからこそ、子どもたちにはこのような「四気を持って」というお話が必要だと思っております。

これまで子どもたちに話してきた私ですが、実は自分自身に対し最も必要であると思って、声に出して言っております。人に言うことによって、意志の弱い自分を奮い立たせているわけです。もう今から27～28年前になりますが、高石市内の小学校で講師として4年生の担任をしておりましたが、参観の日にこのお話をしました。それから5年ほど経って、保護者の方と偶然お会いした時に、「あの『四気』の話で私もがんばることができました」とおっしゃっていただき、こんな若輩者の話でも、心に残してくださったと思うと、とてもうれしかったことを覚えています。私も含めてですが、大人の方にも通じるころがあると思っております。

保護者の皆さん、「やる気」「根気」「元気」「本気」で、子どもたちとともに、それぞれの目標や夢に向かって頑張ってください。

